

# やすらぎ

特養住民  
佐々木アキノ筆

第21号

発行 平成15年9月25日  
編集 社会福祉法人やすらぎ会  
広報委員会



「も べっこしたら雪降ってくるど、今のうちに外あるぐべえ～」

秋の訪ずれを肌で感じながら散歩する住民の皆さん

- ◆特別養護老人ホームぶなの園
- ◆デイサービスセンターぶなの園
- ◆沢内村在宅介護支援センター
- ◆ホームヘルプステーションぶなの園
- ◆西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388

# 戸のある生活を願って 住民の希望を実現へ

ぶなの園では施設長も参加し、住民と職員が「懇談会」を毎月一日に行っています。そこでは生活していただいている住民の方々が、より良い生活を過ごすために改善してほしいことや行事等について話し合います。活発な意見を出してください。方もいらつしゃいますが、多くの方は消極的になってしまっています。それらの住民のテーブルに各職員がお邪魔してお聞きするし、代弁します。

今年の6月の懇談会の中で住民Kさんから「部屋に戸があったら良かった」というご意見がありました。今まで施設の建物についての「ご要望はあまり無かった事もあり、他の住民の方からのお話しも伺いました。



## 数名の住民の意見

○歩行器を使用しているTさんは「今のままのカーテンが開け閉めが出来るからいい。まして車椅子の人だと戸の開け閉めは難しい。」

○生活面でほぼ自立されているMさんは「戸があれば静かだし、暖かいからあった方がいい。」  
○車椅子使用のMさんは「私は戸だと自由に出入り出来ない。カーテンの方がいい」とのお話でした。



カーテンは片手で楽々開閉できます

## 提案者

Kさんより

本来人の部屋へ入る時は、戸をノックし返事をしてから入るのが常識であり、カーテンではプライバシーを守れない。テレビの音や話声などが聞えてくる好きな読書にも集中出来ないし、注意をするのも気を使う。

## 職員として...

私たちは健常者として、日々戸の有る無しについて全くと言っていいほど無関心で、有るのが当たり前という生活を送っている。また家族の間柄でもプライバシーは存在し、自分の空間というものは無意識にも確保されている。

ぶなの園で生活されている住民の方にとってカーテンは、自分だけの空間に入り込んで来る雑音や臭いなどを遮断するのは難しい。一方、部屋の出入りには簡単に開閉できる利点もあり、様々な方向からの検討が必要と思う。一人で



戸があれば周りの音は気になりません  
—1丁目に設置されているトビラー

# 地域仲間との交流 ご来店下さい 新装OPEN ホーム喫茶

今年度ぶなの園住民の方より、ホーム喫茶の際、地域の仲間と交流を行いたいとの要望がありました。早速職員やボランティア等と検討し、六月から老人クラブの方々をお招きし交流を行っています。

第一回目は貝沢地区の老人クラブの皆さんでした。また七月には大野地区老人クラブの方々が十名もおいでいただきました。当日は老人クラブの女性の方による踊り・カラオケ等大変な盛り上がりになりました。大野老人クラブ会長の照井秀夫さん、ぶなの園住民の方より感想をいただきましたので、ご紹介いたします。



みんなに見つめられコブシにも力が入ります

今回ぶなの園より喫茶へ招待いただき、クラブの会員へ参加を募りましたが、今までぶなの園へ行ったことの無い方が多く、行って見たいとの声が多くあり十名での参加となりました。

女性の会員の方より踊りを踊りたいと希望があり、当日披露しました。たいへん好評で皆さん真剣に見ていました。

大野からぶなの園を利用していらっしゃる方がおりましたので、久しぶりに会話を楽しみました。楽しい交流となりました。

大野地区老人クラブ  
会長 照井 秀夫様

## 住民より感想

●外から客が来てくれるから、いつもと違う話ができる。今まで顔を合わせたことの無い人たちと酒を飲んで話をするのもいいな。

住民 佐藤 秀蔵さん

●踊りつこを踊ってくれて楽しかった。老人クラブの方々が来てくれるようになってから会場の雰囲気明るくなった。

住民 刈田 キサさん

●踊りがとてもじょうずでした。地元の新町の人たちが来て話をするのが今から楽しみです。

住民 南川 トミさん



「オ〜うまいもんだ」  
カラオケを鑑賞する老人クラブの方々

## 新しい住民 ご紹介

平成十五年六月、  
十五年八月



大野 泉川タカさん (89歳)



川舟 香山サカエさん (76歳)



湯田町 佐藤登次郎さん (95歳)

(年齢は五月末現在)  
よろしく願っています



# おとしよりに学びほり

## 第一小三年生とかたくりの園の交流をおして

今年度かたくりの園では第一小学校三年生との交流を行っています。交流のテーマは『おとしよりに学びほり』です。月一度の訪問ですが、子供たちの笑顔、利用者の笑い声が絶えることなく、楽しく交流が続いています。子ども達が何を感じたのか三年生担任の花ノ木先生より交流をおしての感想、また子どもたちより感想文をいただきましたので紹介します。

### 学びの中から思いやりの心を

沢内第一小学校の三年生は、総合的な学習の時間における福祉学習の一環として、かたくりの園のご協力のもと、交流・訪問を通して学習をしています。学級のほとんどの子どもは、祖父母と同居していますが、祖父母に甘えて、ついわがままをしまつてしまっているようでした。そこで、かたくりの園との交流を通して、お年寄りに対する思いやりや尊敬の気持ちを育てたいと考えました。

六月には、施設にあるお風呂やベットを見学したり、一緒に体操したりしました。自分達にとって簡単な動きがお年寄りにとって難しいことだとということを通じて難しいことだということ



「ここごと、こやふうに折ってな」

に気づきました。また特に冬期間入居する「支援ハウス」という施設があることを聞き、雪が高齢者の生活にとって妨げになることに初めて気づき、驚いていました。七月の訪問では、お年寄りと一緒に活動をしました。肩をも

てうれしかった。

高橋 菜々子さん

●肩もみをしたら、おばあさんに「じょうずだね」と言われました。「また来た時もうつてね」と言われたので、次にかたくりの園に行っても肩もみをしたいです。

内記 響一さん

## 児童の感想

●おばあさんの肩をもんでいる時名前を覚えてもらいました。私と同じ分訳の人でした。私のおばあちゃんの名前も知っています。

三年担任 花ノ木 明子様



「あや一孫さんでももらえば気持ちいいこと」

# 嗜好を大切に おいしく調理!!

ホームヘルパー勉強中



ス・トマト・キュウリ等は一定の期間に集中し収穫され食べきれない時があり、利用者からも調理の方法や保存の方法など聞かれることがあり今回のテーマとしました。

献立はトマトソーススパゲティ・コンソメスープ・枝豆の蜜煮の三品を調理しました。一般にトマトやキュウリは生が一番というイメージがありますが、火を通すことにより甘味が増すことを知りました。

高齢者だから洋風料理は適さない等の先入観を持たず、その方の生活歴、長年築き上げてきた嗜好等を十分に確認したうえで調理することが必要だと思いました。また、実際にキュウリを使用した細工切りを教えられ、料理は見た目にも美しさが求められることを学びました。食とは人間にとって生きる糧



食べる人の気持ちを考えこころをこめて調理

ばかりではなく生活の楽しみの一つです。ある利用者より「自分達が畑で作った野菜は収穫も嬉しいが、自然の恵みをうけられるものだ」という言葉を聞いたことがありました。今回学んだことを実際に訪問の場でいかしていきたいと思えます。

訪問介護員 有馬絹

平成十二年度から開始された介護保険法に基づき高齢者福祉サービスのしくみが大きく変わりました。しくみの変更と併せ、基盤整備(サービス提供のための建物、設備など)も進んでいます。中でも痴呆症の方の

介護の問題を中心に新聞でも一週に二〜三回の痴呆症関連の記事が目にとまります。最近の見出しだけを見ても「若年痴呆、理解進まず」「痴呆症進む前に自己決定を」「生活見直し痴呆予防」等々です。

そこには痴呆症に対する理解が他の病気に比べてまだまだ低

## シリーズ企画

### 「沢内村から痴呆症をなくそう」

#### 第一回目

いこと、更に「痴呆はバカ」等の誤った見方が根底にあるのではないかと考えられます。そのため、ご家族が痴呆症と分かって、他人に知られるのが恥ずかしい、近所の方も痴呆症ではないかと感じていても、

そのご家族にお話できない等のことが地域に無いでしょうか? 介護保険となり、前述の「基盤整備」の中で、国は特別養護老人ホーム等の他に痴呆症専用の生活施設、グループホームの設置を計画しました。その結果

ふなの園施設長 上野 米子

先日は御招き下さいましてありがとうございました。細川会は子供育成会として、芸能を通して家庭の和をモットーとしながら郷土色豊かな芸能を指導しております。毎回練習日には、おばあちゃん達が付添いに来て一緒に楽しく過ごしております。

この度のぶなの園でも子供達はお年寄りの方々に親しみ感じとても楽しかったそうです。私

**雫石郷土芸能伝承活動細川会**  
**代表 細川チエ子様**



「ズンズン ズンドコ」この日のために練習を重ねました



来年は晴天の下お会いしましょう

●私は南部よしやれ節を歌いました。とても緊張しました。施設は広くお年寄りがいっぱいとても楽しかったです。またお会いしたいと思います。細川会ちびっこ連 深沢 陽菜さん

**唄や踊りを披露してくれた子どもたちより**

自身も親と早く死別しましたので施設の方々を見るとつい両親の姿と重なりとても感激しました。どうぞいつまでも私の心の親として長生きして下さい。またお会いできることを願っています。

**皆さんの支えにより大成功に終わり心より感謝申し上げます**

第五回やすらぎ会夏祭り開催に向け、職員と地域住民で結成した実行委員会は五月中旬より準備を進めて参りました。今年も冷夏のため気温が上がらず、園内での決行となりました。会場を替えての実施は初めてのため不安は少なからずありました。しかし、多くの方々に足を運んでいただき、また多くのボランティアの支えにより、大盛況のうちに幕を閉じることができました。実行委員会を代表し、ご協力くださった方々、ご来場くださった多くの方々に厚く御礼と感謝を申し上げます。

第五回やすらぎ会夏まつり実行委員長 高橋 正慶

●ぶなの園のみなさん、この前は、私たちの踊りを見て下さってありがとうございました。皆さんが楽しそうに踊りをみてくれていたのでとてもうれしかったです。みなさんの笑顔を見て私は気持ちよく踊ることができました。それから、うちわでやった抽選会がとても楽しかったです。何が当たるんだろうととてもドキドキしていました。また行きたいなあとおもいました。おじいさん、おばあさんにもう一度私たちの踊りを見てもらいたいです。それまでお元気でいてください。皆さんありがとうございました。細川会ちびっこ連 谷地 雪乃さん

●ぶなの園のみなさん、この前は、私たちの踊りを見て下さってありがとうございました。皆さんが楽しそうに踊りをみてくれていたのでとてもうれしかったです。みなさんの笑顔を見て私は気持ちよく踊ることができました。それから、うちわでやった抽選会がとても楽しかったです。何が当たるんだろうととてもドキドキしていました。また行きたいなあとおもいました。おじいさん、おばあさんにもう一度私たちの踊りを見てもらいたいです。それまでお元気でいてください。皆さんありがとうございました。細川会ちびっこ連 谷地 雪乃さん

**模擬店ボランティア**  
**石川あゆみ様**

地元の福祉施設の夏祭というところで西和賀高校のボランティアとして参加させていただきました。当日は天候があまりよくなく出店はテント内、踊り等は室内でのステージで行われましたが、皆さんの人達が訪れ例年通りの盛り上がりでした。私達は出店の手伝いをさせていただいたり、歌と踊りを習っている友達に即興でステージに出て入居者の方々やお客さんに喜んでいただけてよかったです。今回のような形でのご参加は初めてでしたが職員の方々の指導のおかげでよい勉強になりました。

# 冷夏を忘れ大賑わい

## 第五回 やすらぎ会 夏まつり



「子どもたちの舞いに拍手がなりやみません」

十年振りの冷夏となった今年夜になると「うーんさび」が自然と出る今年の夏。そんな七月二十六日、第五回やすらぎ会夏祭りが開催されました。あいにくの天候にもかかわらず、多数の来賓の方々、ボランティアの方々、そして大勢の村民の方にご来園いただき例年に負けず劣らず大盛況の祭りとなりました。改めて感謝申し上げます。

●ご協力いただいた数名の方よりご感想をいただきましたのでご紹介します。

**ぶなの園住民の方のご感想**

●自分たちの要望の通り、子どもたちの踊りが見れて良かったし、祭り自体も大成功だった。 桜井英輔さん

●子どもの踊りが上手で可愛かった。自分もステージで唄や踊りに参加できて、気持ち良かった。 児玉幸さん

●雨が降って残念だったけど、皆と一緒に踊れて楽しかった。中でやる盆踊りもまだいがつけ。 照井ツルさん

**ぶなの園家族会**  
**高橋ヨシ様**

お父さんは昔から子どもが大好きで、雫石の子どもたちの踊りを見て遠くの孫を思い出し涙を流していました。夫婦で共に祭りを楽しむことができました。

**太田区長**  
**深沢広見様**

今年のおなの園夏祭りは悪天候のため屋内で開かれ、昔の演



「子どもたちじょうずだな」

芸会場を思い出し懐かしかった雫石の子供達の歌と踊りのうまさには大変感激しました。中でも太田の水上の孫の南部よしやれは素晴らしかった。また、ぶなの園の皆さんも自信を持って踊ってくださりとても感動しました。

年々祭りの内容も充実され、職員の皆さんとぶなの園住民が一緒になって祭りを盛り上げていただき見ごたえがあります。来年も楽しみにしています。



## ホーム喫茶のご案内

【開 店 日】 10月19日 (日)  
 11月16日 (日)  
 12月21日 (日)

【ご利用時間】 13:30~16:30

【場 所】 ぶなの園  
 地域交流の場

お待ちしております！

## 編集後記

この頃よくこんな会話がぶなの園で聞かれます。「お日様が照れば稲っこかがむのにな」「米っこいっぺ取れば、え(家)の人だちもよろごぶべどもな」昨年は長引く雨で米を心配させられ、今年は冷夏でまた米の心配をさせられています。

来年こそは心配させないで下さいね。お天気さ〜ん。

〈やすらぎ会広報委員〉

丹波 直人      田中真紀子      高橋 俊行  
 佐々木菜穂子      高橋 紅子      深沢 恵子

## 感謝申し上げます

平成15年6月~平成15年8月

### 【ご寄付】

- ・蛭坂ヨシエ様
- ・井口 文子様
- ・菊池 菊治様
- ・株式会社 東亜工業様

### 【ご寄贈】

- ・南川 ハル様
- ・大石テツ子様
- ・菊池 菊治様
- ・高橋 貞夫様
- ・高橋 チエ様
- ・深沢 タキ様
- ・梅檀保育所様
- ・婦人会連合会様
- ・岸波 庸子様
- ・高橋 節子様
- ・高橋富美子様
- ・三浦武一郎様
- ・佐藤 信一様

### 【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (洗濯物たたみ他)
- ・長瀬野婦人会様 (ホーム喫茶他)
- ・泉沢婦人会様 (      ”      )
- ・民生児童委員様 (多目的広場清掃)
- ・桜井 英美様 (住民介助他)
- ・高橋 和子様 (唄、踊り披露)
- ・太田若草会様 (ホーム喫茶他)
- ・沢内村理容組合の皆様
- ・後藤 孝男様 (唄、演奏披露)
- ・高橋 昭士様 (三味線披露)

どうもありがとうございます。

## 第3回 文化祭のお知らせ

と き 平成15年12月6日 (土)・7日 (日)

テーマ「沢内に生きる私たちの生活をより快適に」

展示・ステージ発表など内容盛り沢山にて実施予定!!

